

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立第三中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習	○松江「キラリ☆」発見！ ～松江の街・人の魅力を探ろう！～ (朝日・白潟・雑賀探検)	地域の「人・もの・こと」とのつながりを通して、地域のよさや人の思いに気づき、地域や人とのつながりを深める。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝日・白潟・雑賀探検」を通して、松江、特に校区内である「朝日・白潟・雑賀」の“再発見”をする。 ・探究活動に必要なスキルを身につける。 		
<p>1 取組の概要</p> <p>本校は、島根県の県庁所在地松江市にあり、その玄関口である松江駅が校区内にある。言わば松江市の中心・島根県の中心となる場所に位置している。藩政時代からの寺社や町割りや天神川松江駅を中心とした新しい商業施設や大型店舗、駅周辺の高層ビルや高層マンションなど、古き良き伝統を引き継ぐものと新しい文化が融合している。松江三中の総合的な学習の時間は、校区の特色を踏まえ、生徒一人一人が地域・社会とどうつながっているかを考え、自分自身の生き方を見つめ、地域・社会をも含めた未来を創造するための時間としたいと考え、目標を「地域や人とつながり合い、自己の生き方を見つめる生徒の育成」とし、総合的な学習の時間を『まつえ未来プロジェクト』と称し、学習を行っている。1年生は松江、特に校区内の魅力や課題を考え、「朝日・白潟・雑賀探検」を通して、さらなる魅力や誇りの再発見、松江の課題解決の糸口を考えた。また、これらの学習を通して、松江の未来への提言を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;"> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区内の「ひと・もの・こと」とふれ合い、自分を表現したり、周りを思いやったりする体験を通して、進んで周囲とかかわり、ふるまいを身に付けていくことや地域の興味・関心のあることや課題、調べたいことを見つけ、探究して課題解決すること。 ・探究課題解決までの過程や結果から、「松江の未来への提言」を行い、ふるさとの魅力再発見及び発信をしていくこと。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区内の「ひと・もの・こと」の中から課題を見だし、適切に情報収集し、整理・分析すること。 ・校区内の「ひと・もの・こと」とふれ合う課題の設定から解決までの課程を、他者に伝わるようにまとめ、表現すること。 ・グループ活動をとおして、協働的に、探究活動に取り組むこと。 ・探究活動をとおして、自分・地域・人のよさを見つけ、自分とのつながりを認識すること。 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">    </div> </div> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>「改めて地域の歴史を知って興味が高まった。」「地域の新たな発見がたくさんあった。」などの感想が述べられた。また、「未来への提言」においては「SNSなどを活用してこの地域の魅力を積極的に発信する。」「環境整備をすすめ、たくさんの人が集まる工夫をする。」など、ふるさとへの貢献意欲、関心の高まりが感じられるものが出された。</p> <p>学校評価では、「地域に関する学習を通して、地域の良さに気づいた生徒の割合」が90%に達</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

している。（昨年度85%）

（学力育成の視点から）

- ・地域の「歴史」を学ぶことから始まり、目的をもって自分たちの足で、見慣れた風景の中を歩くことで、これまでとちがう見方や考え方が生まれ、街の魅力や課題を発見できた。
- ・どのグループも、それぞれの探究課題に基づいて、自分たちの住む街についての「提言」を行うことができた。地域への理解が深まり、関心も高まった。
- ・調査結果などを分析し、考察、提言ができたことやポスターセッションで発信をしたことなどで、探究活動の達成感を味わうことができ、他教科や今後の総合的な学習における探究活動等へのスキルが身についた。



4 課題や今後の展望

タブレットの利用ができるようになり、欲しい情報が以前より早く、たくさん入手できるようになった分、情報の精査、分析、整理ができにくい点が課題として挙げられる。また著作権や出典の明記なども不十分なものが多いと感じている。

今後は、1年生で身につけた知識や技能が、2、3年生での学習へとつながっていき、発展していくことが望まれる。また、他教科との関連も明確にしながら、ふるさと教育、総合的な学習の全体計画、年間計画の年度ごとの振り返りや見直しを徹底していくことが必要と考えている。

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

（このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）